

躍 YAKUDO! 動

山形市体育協会だより

第8号

SPORTS

SPORTS PEAK PERFORMANCE



山形市体育協会



3コース 齊藤亮子選手



齊藤 亮子

写真は、9月23～24日に福島医科大学で開催された日本スポーツマスターズ2004水泳競技会女子6部50m、100m平泳ぎで優勝。

齋藤 利樹

日大山形高校卒業後筑波大学進学し、現在山形市水道部勤務。高校大学と水泳部で活躍。大学在学中は、日本選手権、日本学生選手権にて選手権獲得。

本年度、日本実業団水泳競技大会100m平泳ぎ優勝。

写真は、11月7日(日)山形市総合スポーツセンター屋内プールにて開催された第15回東北秋季マスターズ大会参加時のもの。

頂点

P E A K

アテネオリムピックに出場して

NECレッドロケッツ

高橋みゆき

山形市民の皆様はじめ体育協会・バレーボール関係者主催の壮行会にご参加くださった方々や、アテネオリムピック最終予選から暖かい声援を送り続けてくださった多くのファンの皆様に支えられアテネオリムピックに参加してまいりました。

世界中の全競技のアスリートたちが参加した開会式はまさに「感動！」であり一生の思い出になりました。そんな中、私の参加したバレーボール競技では、日本の代表チームの一員として世界の強豪と緊張感の中で精一杯戦い、予選ラウンドは通過したものの決勝ラウンドで中国に破れ、第五位にて全日



写真提供：山形新聞社

程を終了いたしました。

世界の頂点を目指すチームとしては、試合日程に照準を合わせた緻密な体調管理、戦術、戦略が必要であり、団体競技だからこそ一人一人の高いモチベーションがより大切となることを肌で感じました。人間の限界点をいつしか自分自身で決めてしまい、成長を妨げている自分に苛立たしさを覚え、夢であったオリムピックのメダル獲得が目標へと変わった今、心技体を鍛え、社会人として幅を広げ、どんな時もあきらめない自分であり続けられるよう日々精進していきたくと思います。

高橋みゆき氏

一九七八年十二月二十五日生まれ。山形市立山形商業高等学校卒。

第二十八回アテネオリムピック・女子バレーボール競技に出場し、五位の成績を収める。

【〇三年】

ワールドカップバレーボール
二〇〇三 五位

【〇四年】

二〇〇四アテネオリムピック
バレーボール世界最終予選
一位

現在の所属は、NECレッドロケッツに所属。

アテネオリムピックに出場して

ジャパンエナジーJOMO サンフラワース

大神 雄子

小学校でミニバスケットボールスポーツ少年団に入ってから夢であったオリムピック出場を果たすことができてもうれしく思っています。そして、何事にも変え難い貴重な経験を積むことができました。

開会式では鳥肌が立つほどの大きな感動を味わいました。ゲームでは世界の強さ、高さを痛感しました。プレイでは自分のスピードが少しは通用したかなと僅かですが自信になりました。選手村では他国の選手達とも交流ができ、世界中に多くの友人ができました。やはり夢にまで見た素晴らしいオリムピックでした。

次の夢は、四年後の北京オリムピックです。何としても出場したいです。



代表選手になるには、また、アジア予選を突破するには厳しい試練が待っています。ひとつひとつ乗り越えて行きたいと思っています。そして、将来はアメリカに渡りWNBA（女子プロバスケットボール）の選手になりたいと思っています。それまでは、大きな夢と強い意志を持ってバスケットボールに取り組みたいと考えています。

最後になりますが、オリムピック出場に際し、多くの方々から大きなご声援をいただきました。心から厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

大神 雄子氏

一九八二年十月十七日生まれ。山形市立第八小学校卒。山形市立第一中学校卒。私立桜花学園高等学校卒。

第二十八回アテネオリムピック・女子バスケットボール競技に出場し、十位の成績を収める。

【九八年】

第十四回アジアジュニア選手権大会 四位
（ベスト5）

【〇〇年】

第十五回アジアジュニア選手権大会 二位
（ベスト5）（得点王）

【〇一年】

第五回世界ジュニア選手権大会 十一位（得点王）

第十九回アジア選手権大会 三位

【〇二年】

第一回アジアヤングウイメン選手権大会 三位

第二十回アジア選手権大会 二位（アテネオリムピック予選）

現在の所属は、ジャパンエナジーJOMOサンフラワースに所属。

輝かしき記録に想う

日本スポーツマスターズ二〇〇四
水泳競技に参加して
今後の目標

競泳（さくらんぼ水遊会）

齊藤 亮子

九月二十三、二十四日福島市で開催された「スポーツマスターズ二〇〇四」に参加してきました。水泳競技については今年から女子の部も高齢者も出やすい競技区分の設定になったので六十歳の部に出場、幸いなことに私の種目には出場者が少なく優勝出来ました。自己のベストタイムには至りませんでした。

子育てを終えてから水泳を始めた私にとって往年の選手が活躍するスポーツマスターズ大会は手の届かないものと思っていました。出場してみても過去の戦績より現在どれだけ練習しているかが重要なのだということがはっきりわかりました。



市の水泳講座修了生で結成した私達の水泳愛好会はまもなく三十周年を迎え会員の平均年齢も六十代の後半に達しました。顔を水につけることから始まった練習も今では二〇〇メートルほどのメニューを週三回こなしています。まさに「継続は力なり」を実感し、体力の衰えを技術の習得でカバーしようという練習に励んでいるところでです。

六月、イタリアの世界マスターズ水泳大会で私が出場した二〇〇メートル背泳ぎでは、九十歳以上の部の華麗な泳ぎを目の当たりにし「まだまだ先に目標はあるな」という感じで帰ってきました。各種のマスターズ大会では、五歳刻みの区分設定になっているので高齢になってもそれなりの目標設定が出来るので希望が持てます。

九月、高知県でのマスターズ水泳大会で、私達のチームは二八〇歳以上の部リレーで、新記録を樹立してきました。「次は、三二〇歳以上の部に出られたらいいね」と仲間と夢を語りあっているこの頃です。



二〇〇四年

全日本ジュニア選手権大会

新体操（山形市立第三中学校）

庄司 七瀬

私は幼稚園から新体操を始め、早くてもう十年になる。

そして今年、私は中学校の最高学年になった。全ての大会が最後になるので、一つ一つ悔いの残らない演技ができるよう臨んだ。

特に全国中学校体育大会・全日本ジュニアには深い思いがあった。今まで以上に辛い練習にも耐え、自分の今得意な所が伸びるように頑張った。そこで八月の石岡での全中。ロープのちよつとしたミスの結果、準優勝に終わった。その時はその結果で充分満足だった。しかし、時間がたつにつれて「それでよかったのだろうか？」と思うようになっていた。結果の方も悔しかったが、それよりミスの方がとても悔しかった。その気持ちで挑んだ十月の全日本ジュニア選手権大会。去年よりも上をねらっていた。

個人と団体の両方あったが、ここまでは更に得意なピボットの回転数を増やせるように取り組んだ。そのおかげで私らしい演技を気持ちよく踊れた気がした。個人は四種目



だったが二種目はミスがあった。とても悔しく、またもや準優勝となつてしまった。しかし私は、その時自分ができる最高の演技ができたと思うし、それがなによりうれしかった。

結果が二位という事で私にはまた新しい目標ができたし、これからも頑張れるきっかけを与えてくれたと思う。私の目標にはまだまだ遠いけれど、いつか絶対叶えてみせる！と思えるようになった。

まずは、来年の五月にある世界選手権の最終予選に向けて、第一歩を踏み出せるように受験もあるが、この冬の間の練習に取り組みたいと思う。そして自分の理想像に少しずついいから近づけるようにしていきたい。

最後に「私は新体操が大好きだし、今まで続けてこれたことに周りのみんなに、本当に感謝したい。」

輝かしき記録に想う

全国高等学校総合体育大会へ
出場して

ボクシング（山形南高等学校）

関 東 英 之

部活動を引退した今、つくづく思うことがある。部活動で日々忙しかった頃は、自分の事だけで精一杯だった。しかし、気がつかなかっただけで、僕は色々な人に支えられてきたのだ。家族・友人・先生方、そして部活動の仲間。周囲の支えがなければ、僕はインターハイ優勝など到底できなかっただろう。

「自分がどれだけ強いのか」、そんな単純な理由で始めたボクシングが僕の高校時代の素晴らしい思い出となり、大切な事にも気づかせてくれた。減量中にはふらふらになりながらも家族に支えられ、部活動の仲間



写真提供：山形新聞社

と励まし合いながら歯を食いしばり頑張った。練習中、手を抜こうという誘惑に駆られた時には、先生の激で踏ん張った。ボクシングから逃げ出したくなった時には、友人が相談に乗り、僕をまたボクシングへと向けてくれた。そんな周囲の支えを借りて、僕はインターハイへの出場を果たした。

三度目の全国の舞台。以前のような緊張はなく、懐かしい思い出の場所にまた戻って来たような感覚。知っている顔があちこちに見えた。これからとてつもなく大きな壁に挑戦するのだと思うと武者震いを感じたのを覚えている。昨年の静岡国体決勝で敗れた相手とは反対ブロックに入り、お互い順調に決勝まで勝ち上がった。顧問の先生と念入りに戦略を立て、腹を括って試合に臨んだ。

結果、見事勝利を収め、悲願のインターハイ優勝を果たすことができた。正直、試合が終わった瞬間はうれしいというよりも、ほっとして、やっと肩の荷が降りたのだという安堵感が身体中を駆けめぐった感じであった。

この素晴らしい経験は、僕の人生でとても価値あるものとして刻まれた。僕はこの事を思い出す度に、周囲の人達に支えられていたのだと心から思う。そして、それは忘れてはならない大切な事だ。ボクシングというスポーツに出会えて本当によかった。僕を支えてくださった皆さんありがとうございました。

国体初出場

成年女子サッカー

五十嵐 あゆ子

サッカー競技に成年女子が正式種目になったのが七年前。本国体への切符は東北で何年かに一度、二枠の年があったが、これまで国体出場をいま一步で逃してきた。

毎年、できる限りの備えをして試合に臨む。負けることなど考えないから、それだけに度々の敗退は年を負うごとに悔しさが増し、敗れることへの恐れの記憶が色濃くなっていた。

実力は十分にあった。むしろライバル県に比べて経験値は高いという自負はある。なのに一体なぜなのか。



勝つことへの強い気持ちがあったわけではないが私たちには「勝負」に対する甘さがあったように思われるのだ。「気迫」の力は勝負の世界では全く関係ないとは言いが切れないように思える。冷静に、かつ闘志をむき出しにして戦うことに弱さが潜んでいたのだ。「絶対に負けられない」という思いがとてつもなく大きなプレッシャーとなり、重くのしかかっていたことにも、夢中で気がつかなかった。

経験を重ね、何度も味わった挫折を糧としてトレーニングを積み、国体に挑み続けたベテラン層の強い精神力が実を結ぶのに十分な役割を果たした。また情熱をもった若い選手とのミックスマッチがうまくいき力を存分に引き出すことができたことも大きな勝因であると思う。そしてあきらめることなく信じて指導してくださったスタッフ、関係の方々の力全ての結果によって今回の国体への切符を手にすることができたと思う。

さて国体の結果といえば、初戦を長崎県に勝利したものの準々決勝で地元埼玉県に大敗。日本トップクラスとの壁は厚く、実力をまざまざと見せつけられる結果となった。私達はこの貴重な経験を忘れず、出場のみならず満足することなく、国体での上位入賞への挑戦を続けていく。



第59回国民体育大会秋季大会
成年男子157キロ個人ロードレース
2位 土井 雪広 (シマノ)

全国高等学校体育大会
陸上: 男子800m 優勝
松田慎太郎 (東海大山形)

第59回国民体育大会秋季大会
少年女子エアライフル立射 (20発)
優勝 新宮 由貴 (山形城北)

第80回日本学生選手権大会
水球: 男子 優勝
長沼 敦 (日体大)

競技	氏名	所属	種目	成績
☆W杯フリースタイル				
スキー	滝沢 宏臣	ディナスターラングスキークラブ	スキークロス	3位
☆日本スポーツマスターズ2004水泳競技				
競 泳	斎藤 亮子	さくらんぼ泳遊会	女子6部 (60~64歳) 50m平泳ぎ	優勝
	野間 則	さくらんぼ泳遊会	女子6部 (60~64歳) 100m平泳ぎ	優勝
			女子6部 (60~64歳) 50mバタフライ	2位
☆第80回日本選手権大会				
水 球	長沼 敦	全日体		優勝
競 泳	庄司 有太	中央大学	男子200m個人メドレー	4位
	齋藤 利樹	山形市役所	男子400m個人メドレー	6位
			男子50m平泳ぎ	6位
☆第80回日本学生選手権大会				
水 球	長沼 敦	日本体育大学		優勝
	曲山 洋司	早稲田大学		3位
競 泳	庄司 有太	中央大学	男子200m 個人メドレー	2位
			男子400m 個人メドレー	4位
☆第21回全国女子水球競技大会				
水 球	荒井 桃子	聖徳クラブ		3位
☆第55回日本実業団水泳競技大会				
競 泳	齋藤 利樹	山形市役所	一般男子 100m平泳ぎ	優勝
☆第38回全日本高校馬術競技大会				
馬 術	二位関 堯・豊田六郎太	日大山形高校		3位
☆第52回全日本レスリング選手権大会				
レスリング	佐藤 綾子	霞城学園高校	女子55キロ級	3位
☆第36回オープントーナメント全日本選手権大会				
極真空手	清水 明広	極真山形		5位
	古瀬 正明	極真山形		6位
☆第59回国民体育大会 夏季・秋季大会 入賞者				
ライフル射撃	新宮 由貴	山形城北高校	少年女子エアライフル立射 (20発)	優勝
自転車	土井 雪広	シマノ	少年女子エアライフル立射 (40発)	2位
	安孫子 充裕	上山明新館高校	成年男子個人ロードレース	2位
陸 上	松田慎太郎	東海大山形高校	少年男子B 200m	2位
	山口 沙希	山形北高校	少年男子共通 800m	3位
	堀江 真由	順天堂大学	少年女子A 100m	7位
	高橋 初実	山形城北高校	成年女子 400m	8位
ボクシング	関東 英之	山形南高校	少年女子A 5,000m競歩	8位
	佐藤 祐平	山形南高校	少年ミドル級	2位
	庄司 有太	日本大学	成年フェザー級	3位
競 泳	渡邊 直幸・庄司 有太	中央大学	200m個人メドレー	2位
	栗野 道	県選抜	成年男子 400mメドレーリレー	8位
	渡邊 直幸	中央大学	成年男子 100m背泳ぎ	8位
レスリング	須藤 輝	山形商業高校	少年フリースタイル 50キロ級	3位
	船山 直樹	山形南高校	少年フリースタイル 84キロ級	5位
ボウリング	尾形 翼	山形商業高校	少年グレゴローマンスタイル 55キロ級	5位
	大石 奈緒	山形電波工業高校	少年女子個人	4位
水 球	安達 宏司・菅原 社大・庄司 有太	論吉・本達 哉		
	村上 卓也・阿部 晃三・那須 洋樹・高橋 庸孝	洋樹・高橋 庸孝	県選抜	5位
	小関 清人			
サッカー	五十嵐あゆみ・片山 容子・富川 葉月・白石 幸子		県選抜	5位
	須藤 千絵・菅野 博子・坂本 慶子・松村奈津子			
	須藤みずき・海谷香保里			
新体操	大倉めぐみ・後藤 梨紗・小澤 彩美・富田有花里		少年女子総合	5位
ライフル射撃	横尾奈緒子		成年男子センターファイアピストル	5位
ソフトボール	奈良崎隆二	上山警察	ソフトボール少年男子	5位
空 手	笹沼 英二	南陽高校		5位
バレーボール	加藤 早智・今井 麻美・新田 愛実・四釜 夏海		県選抜	5位
	安達 善也	山形市役所	成年男子組手個人重量級	5位
	川田 玲子	後藤智亜紀	県選抜	5位
馬 術	二位関 堯・佐藤 博幸	県選抜	少年リレー	6位
	二位関 堯・佐藤 博幸	県選抜	少年団体障害飛越	7位
☆第4回全国障害者スポーツ大会				
水 泳	武田 昌巳	スイミングアカデミー	女子1部 (区分6) 50m自由形	1位
	八峰 隆子	ヤマザワ	女子1部 (区分6) 50mバタフライ	1位
アーチェリー	庄司 忠彦	工藤アルファ	女子2部 (区部12) 50m自由形	1位
	半田 忠利	共同産業(株)	男女共通アキュラシー・ディスリート75組	2位
			男子2部 (区部1) リカーブ50m・30mラウンド	1位
☆全国高等学校総合体育大会				
ボクシング	関東 英之	山形南高校	ミドル級	優勝
陸 上	松田慎太郎	東海大山形高校	男子800m	優勝
自転車	齋藤 雄介	山形電波工業高校	3,000m個人追い抜き	7位
レスリング	須藤 輝	山形商業高校	個人50キロ級	8位
☆全国中学校総合体育大会				
新体操	庄司 七瀬	山形三中	女子個人総合	2位
剣 道	山形三中		女子団体	2位
	野口さおり	山形大学附属中	女子個人	3位
☆全日本ジュニア選手権				
新体操	庄司 七瀬	山形三中	女子個人総合	2位
☆JOCジュニアオリンピックカップ春季				
競 泳	松本 幸樹	S A ヤマザワ	男子12歳 100m自由形	優勝
	板垣 明香	山形中央高校	男子12歳 50m自由形	3位
	高橋 理沙	山形DC	女子CS 50m背泳ぎ	3位
			女子CS 100m背泳ぎ	7位
			女子15~16歳 200m背泳ぎ	4位
☆第21回山形県女子駅伝競走大会				
駅 伝	遠藤 陽奈・富樫 愛咲	山形市選抜チーム	女子駅伝	優勝
	石山真紀子・船山 桃代			
	熊坂 香織			

山形地区野球連盟

会長 室岡 昭

山形地区野球連盟は、昭和十五年山形市体育協会発足時に野球部（軟式・硬式）として加盟、以来現在まで六十五年という長い歴史と伝統の基に、数多くの大会を運営してきた。本連盟は、山形地区（山形市・上市市・天童市・寒河江市・東、西村山郡）に於ける野球の振興と、競技力の向上、加盟団体の親睦を深めることを目的として、地区の野球団体及び、審判部、強化指導部、記録放送部、事業部、その他、必要な専門部等の関係者を以って組織され、①各種大会の開催並びに後援、②審判技術の指導、講習会の実施、その



他審判に関する必要な事業、③野球技術の普及強化のための必要な事業、などが主な事業内容です。活動状況の前に、今春の選抜高校野球選手権大会に於いて、東海大山形高等学校は、県勢として春、夏とおして初のベストエイトに進出、野球後進県の汚名

返上を晴らすことができました。この活躍に、心から敬意を表したと思います。本年の活動状況は、連盟主催事業を始め、高校野球、中体連、第十二回東北野球連盟会長旗争奪軟式野球等、全体で、八五三試合、審判員の稼働は一、九九八名と、シーズン中は、毎週のように、大会運営に携っているほか、ジュニアの強化活動として、中学一、二年生を対象にした特別強化、高校入学後、野球を続けたい中学三年生を、硬式ボールによる中学球児特別練習会を実施、野球の底辺拡大を図っているところとす。今後の課題として、審判員の高齢化に伴い、毎年減少傾向にあり、若手新人の確保と育成強化の急務、平成二十二年に霞城公園の整備に伴い

「新野球場がいつ、何処にできるのか、野球を愛し、野球に親しみ、野球を楽しむに多くの市民、青少年の最大の感心事となっております。平成十六年六月二十四日に、新野球場早期建設の署名を持参して、要請しておりますが、財政硬直化の中にあつて、早期建設は、山形市としても、大きな課題である事は、理解しながらも、シーズンの空白だけは、絶対に避けたいと思っております。



山形市スポーツチャンバラ協会

会長 遠藤 仁

「エイ」「ヤアー」とかけ声をかけると思いだす「チャンバラ」誰もが幼い頃、木を削って新聞紙をまるめて遊んだと思います。

このチャンバラがスポーツに考案しました人は横浜市在住の本協会長の田辺哲人先生です。約三十五年前に竹製の小太刀で始めたのが最初で有り現在はエヤー式のソフト剣で短刀四十五センチ以下、小太刀六十センチ以下、長剣一〇〇センチ以下、それに槍、棒の五種の用具が有るが二刀流、八種の試合方法が有ります。

選手はエントリーする種目でチャンピオンを決め、さらにグラウンドチャンピオンを争うときには小学生、中学生がチャンピオンになる事も有り、協会のイベントとして、世界、全国、大学、子供、幼年大会を協会主催で行っております。県内では各市町村の支部大会



を毎年開いており山形県大会を年一回山形市内で行っております。山形の選手は各大会へ出場していますがレベルが高く幾度となく優勝をし

ています。この「日本発チャンバラごっこ」は世界のスポーツとして全世界三十万人のスポーツ人口です。

大会は年齢別（学年別）分け競技をしたらルールは剣道の試合方式であるが「足打ち」も認めるのが特徴である。頭部から足先まで当ると「一本」で勝負が決るといふ単純なスポーツである。七m×七mのコートで競技し、三名の審判、一名検査役がつく、判定に異議が生じた場合、選手はその場で異議を申し立てることが出来る。円満に迅速に解決に対応し選手はその意に従う。山形市内の教室では夏場は第二小学校体育館で冬場は城北高の体育館で夜七時より約二時間位練習をやっております。

練習生は幼年より壮年までさまざまです。だれでもやれるスポーツで簡単なルールで服装自由スタイルで、そして安全で今すぐ、誰とでも自由に、楽しく、仲良しになるスポーツチャンバラです。



[山形市体育協会、今昔]

昭和51年度「第1回スポーツ市民の集い」 荒木 善行(市体育協会顧問)

我々体協人には、スポーツ普及は行政で、試合や強化は体協との暗黙の考え方があった。それも東京オリンピック以降のスポーツの普及が著しいなか、市体協でも市民のスポーツ活動に独自の働きかけをすべきでないかとの反省を余儀なくされていた。安藤重雄副会長との話し合いでは、現在の市体協に独自の事業をやる経済的体力があるか、市体協構成員に理解と行動力があるかなど、総論は賛成だが各論は難しいとのこと意見があった。しかしその第一歩として、市体協「主導」で市当局の「協力」を得ながら、市民スポーツ普及への啓蒙活動を実施する案を提案した。

それが、昭和五十一年二月二十八日市体協が市民対象事業として開催した「スポーツ山形市民のつどい」(山形市スポーツ年表参照)である。十九日の開催準備のための理事会には、理事の殆どが出席して意識の高さが確認できた。私の当時の日記にその喜びが記されている。会場を県民会館とふんばって、せめて千五百人は集めたいと、安藤副会長とNHKテレビ放送に開催広告のお願いにも歩いたし、学校関係・社会教育関係者への働き掛けなど市教委にもお願いした。幸い市保健体育課には、下園保体課長以下田崎主幹(陸上競技) 体育振興係中村係長(バレー) 小関・松田指導主事(学校体育) 保健係風間係長(レスリング)と当然の事ながら、相談相手としては十分すぎるスタッフであった。実施の第一の問題は、集客力を持つ講師の選択であった。市民の誰でもが周知して話の上手な講師をとということで、元オリンピック日本男子バレーチーム監督の松平康隆氏にお願いした。中村係長には大変ご面倒をお掛けした。当日入場者は、午後一時半開会で約三百、徐々に増えて終りごろには約千人を超え、一回目としては大成功と安堵の胸をなで下ろした。松平氏のバレーに懸ける情熱と巧みな話術におんぶした事も事実であった。また、市民を集める苦労も思い知らされた。終わって、安藤副会長と成功の握手したこと、後の「なおいらい」で「荒木は久しぶりうまそうに酒をのんでるなあ!」と言われたことを思い出す。

地区振興会巡り 第4回 (明治地区)

一つの転換期を乗り越えて

明治地区体育振興会会長 工藤 三郎

明治地区体育振興会は、昭和五十五年一月十九日に、当時の小関明治公民館館長、樋口明治地区部落長会会長の呼びかけで設立準備会が発足し、その後数回の会議を経て、三月二十九日設立総会と精力的に行動され、四月一日から正式にスタートする。

この発足までにご尽力いただいた皆さんに、厚く感謝したい。地域に定着し、市民運動会での活躍と華々しい一時もありましたが、今は地味ながらも地域の活性化を図るため、常に改革を続け、斬新な考えの下、マンネリ化の防止も含めて微力ではあるが鋭意努力中であります。

発足から二十五年も経つと、運動会を無くせ等さまざまな意見が寄せられます。個人中心主義でものを考え、人からあれこれ言われたくない、近所付き合いの希薄化などなど、発足当初から比べれば社会情勢が大きく変化しております。

だからこそ、今、地域の行事に参加し、それを契機に明るく、楽しみながら、和気あいあいの中で、老若男女が一つにまとまり、協力しあうことも重要な要素の一つと考えます。

そして汗を流し、反省会などとおして、お互い理解を深め合うことが大切であり、そこに運動会及び球技大会開催の意義があることを強調し、今後も明るい地域づくりに役割を担いたい。

今年度は、各事業のタイトルに、山形市合併五十周年記念と銘打って展開中であり、最後の事業であります第二十五回明治地区球技大会(十一月七日)は、昔活躍された方々を対象に、ソフトボールは明星会、ソフトバレーボールは明星会と、一時的な名称をつけて東西対抗戦を行い名プレー、珍プレーを期待する記念イベントを行うべき準備中です。(躍動が発行されるころは終わっているかも)

最後になりますが、現在事務局を中心に、二十五年間のあしあとを整理中であります。お楽しみに。



平成14年10月13日、第21回山形市民総合運動会で選手宣誓をする高橋さん親子



昭和60年8月25日 第6回明治地区大運動会 僕かつぎ競走

第21回 県女子駅伝競走大会

山形市優勝!!

◆ 個人区間成績 ◆

第1区(5.5km)	遠藤 陽奈	2位
第2区(4.2km)	富樫 愛咲	1位
第3区(2.9km)	石山真紀子	3位
第4区(2.7km)	船山 桃代	3位
第5区(5.3km)	熊坂 香織	1位

写真提供・山形新聞社



2区で山形の富樫愛咲(山形城北高)が区間トップの快走で首位に出る。(上山市内)

最後に沢山のご声援どうもありがとうございます。これからもご声援に応えられるよう日々努力していきます。

しかし、一区の人の姿が見えるそんな事も考えずレースに集中していました。陽奈さんが、一位と十秒差の二位でタスキを渡してくれて一位の人の姿が見えて良かったです。走り始めると足の痛みもなく一人ぬかして一位でタスキを渡せ、チーム優勝へ貢献できて本当に良かったです。

私は県女子駅伝の四日前転んでしまい、膝の靭帯を痛めてしまいました。ちょっと走るだけでも痛かったので、欠場する事も考えましたが、補欠の人もケガをしていたので、もし私が走らないことになればオープン参加になると言われてしまいました。

今年の山形市チームは、メンバーが揃っていて、充分優勝できる力がついていました。それだけに回りの期待も大きく、「足が痛いから走れない。」とは言えず、走ることを決めました。

レース当日は、天気も良く走りやすい気温でした。みんながアップを始め、走っている中私は痛くて時々歩きながらもアップをしました。足の痛みがひどいなか、一区がスタートしました。テレビで一区の陽奈さんが、二位であることがわかりました。私はすごく不安になりました。一位の人から離されたり、ぬかされて、後の人に迷惑をかけたかどうかとイヤな事を考えてしまいました。

富樫 愛咲

第4回 キッズスポーツスクール

どんな教室?

キッズスポーツスクールは小学1年生から小学3年生までの児童を対象としたスポーツ教室です。スポーツが得意な子も、運動不足の子もみんなでスポーツを楽しみましょう!

内容	ミニサッカー・ユニバーサルホッケー・キンボール
期日	平成17年1月9日(日)・1月16日(日)・1月23日(日)の計3回 AM9:00~AM11:30(全日程)
場所	山形市立高橋中学校体育館
対象	小学1年生から小学3年生までの男女
人数	各日程40名(先着順になります)
指導者	財団法人山形市体育協会 スポーツ指導員
会費	1日1回 200円(傷害保険料含む)
応募方法	詳しくは、(財)山形市体育協会までお問い合わせください。

第5回 キッズスポーツスクール

どんな教室?

キッズスポーツスクールは小学1年生から小学3年生までの児童を対象としたスポーツ教室です。スポーツが得意な子も、運動不足の子もみんなでスポーツを楽しみましょう!

内容	ユニバーサルホッケー・キンボール
期日	平成17年2月20日(日)・2月27日(日)の計2回 PM13:00~PM15:30(全日程)
場所	山形市立蔵王第一中学校体育館
対象	小学1年生から小学3年生までの男女
人数	各日程40名(先着順になります)
指導者	財団法人山形市体育協会 スポーツ指導員
会費	1日1回 200円(傷害保険料含む)
応募方法	詳しくは、(財)山形市体育協会までお問い合わせください。

第2回 ジュニアスポーツスクール

どんな教室?

ジュニアスポーツスクールは小学4年生から小学6年生までの児童を対象としたスポーツ教室です。スポーツが得意な子も、運動不足の子もみんなでスポーツを楽しみましょう!

内容	ドッジボール・バスケットボール ユニバーサルホッケー
期日	平成17年2月5日(土)・2月19日(土)・2月26日(土)の計3回 PM12:30~PM15:00(全日程)
場所	南部体育館
対象	小学4年生から小学6年生までの男女
人数	各日程40名(先着順になります)
指導者	財団法人山形市体育協会 スポーツ指導員
会費	1日1回 200円(傷害保険料含む)
応募方法	詳しくは、(財)山形市体育協会までお問い合わせください。

財団法人山形市体育協会

ホームページ開設

(財)山形市体育協会ホームページアドレス

<http://business3.plala.or.jp/y-spokan/>

平成16年6月より、(財)山形市体育協会のホームページが開設しました。まだ内容が充実していませんが、市民の皆様にご覧頂けるような様々な情報を掲載していきますので、是非ご覧下さい。

編集後記

夏から秋にかけて各種大会での選手の活躍状況を見ると、頂点に立たれた数は少ない感がありますが、入賞者が非常に多く出ており、今後の活躍に期待が持てる内容となっていることについては、非常に心強く思っております。

(財)山形市体育協会の機関紙「躍動」には加盟団体の紹介コーナーがありますが、名簿記載順番の最初と最後から順番に各一団体を紹介しておりますので、早目に原稿依頼をいたしますので各団体の皆様におかれましては、ご協力のほどよろしくお願い致します。

なお、機関紙「躍動」は本協会のホームページでも見ることができますので、アクセスしてどうぞご覧になって下さい。

広報委員長 工平 貴夫

躍動 第8号 2004 December

【発行】	財団法人山形市体育協会
【編集委員】	工平貴夫、後藤正博、須貝秀雄、奥山敏一、富樫庄一、大坂吉弥、長沼千歳、榊寿一、橋本則之、西村久男、地主幸雄、荒井敬次郎
【事務局】	〒990-2477 山形市長苗代61番地 山形市スポーツ会館内 TEL 023-647-4175 FAX 023-645-5595
【印刷】	(株)大風印刷